

2023年度 衛生医療評議会 「医療職場で働く組合員へのアンケート調査結果」

調査の経緯と目的

新型コロナウイルス感染症対応が長期化する中、自治労に加盟する全国の医療機関は、それぞれの地域において中心的な役割を果たしてきました。自治労本部・衛生医療評議会では、この間の新型コロナウイルス感染症への対応や、医療施設で働く組合員の意識や影響を調べるため、Webアンケートを実施しました。

概要

調査対象：自治労加盟の医療施設で働く組合員

調査期間：2022年11月25日～2023年1月19日

調査方法：WEB アンケート（Google フォーム）

回答状況：47 都道府県 9682 件

内容

Q1.	都道府県名入力してください	4
Q2.	年代を選択してください。	4
Q3.	雇用形態を選択してください。(最も該当するものを選択してください)	5
Q4.	性別を教えてください	5
Q5.	あなたは、2022年1月以降、新型コロナウイルス感染症患者(疑い者)に直接かかわる業務を しましたか?	5
Q6.	職種を選択してください(医療)	6
Q7.	2022年1月以降ご自身がコロナ感染や濃厚接触者となり仕事を休んだことはありますか?	6
Q8.	2022年1月以降、時間外労働が一番多かった月の時間数を教えてください	8
Q9.	2022年1月以降、時間外勤務が一番多かったのは何月ですか?	9
Q10.	2022年1月以降で、医療従事者であるということで、新型コロナウイルス関連の差別や偏見を 受けたと感じたことはありますか?	10
Q11.	差別・偏見はいつ頃どのようなものがありましたか?	10
Q12.	2022年1月以降で、ご自身にうつ的な症状はありましたか?	10
Q13.	「ある」と回答された方にお聞きします。どのような症状でしたか?(3つまで選択してくださ い)	11
Q14.	コロナ感染拡大前と比べて、現場において患者および患者家族からの迷惑行為や悪質なクレ ーム(カスタマーハラスメント)の数は変化しましたか?	11
Q15.	2022年1月以降、患者および患者家族から迷惑行為や悪質なクレーム(カスタマーハラスメン ト)を受けたことがありましたか?	12
Q16.	迷惑行為や悪質クレームを「受けている」と「自分はないが、職場で受けた人がいる」と答えた 方にお尋ねします。どのようなものでしたか?(上位に該当するものを3つまで選択してください)	15
Q17.	迷惑行為や悪質クレームについてどのようなものがありましたか?(実際にあったことを可能 な範囲で教えてください)	16
Q18.	2022年1月以降で職員のコロナ感染や濃厚接触等による休みのため急な勤務変更(シフト変 更)、休日出勤、休日の変更を経験したことはありますか?	16
Q19.	コロナ感染拡大前と比べて、休暇取得について変化はありましたか?	17
Q20.	コロナ感染拡大前と比べて、知人や友人と過ごす時間に変化はありましたか?	18
Q21.	2022年1月以降で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置がない時期に職場独自のプライベ ートを制限する指示はありましたか?	18
Q22.	休暇や行動制限について意見があれば教えてください。	19
Q23.	現在の職場を辞めたいと思っていますか?	19
Q24.	辞めたいと思う理由は何ですか?(該当するものを3つまで選択してください)	20
Q25.	この3年間で業務量はどのように変化しましたか?	21
Q26.	コロナ患者対応以外で増えた業務はどのような業務ですか?	22
Q27.	現在の、あなたの職場の人員配置は、業務量に対して適切な人員配置ですか?	23
Q28.	今の職場の人員配置に対して、ご意見があれば教えてください。	25

Q29.	政府が進めている看護職員等の処遇改善で、あなたの賃金は改善されましたか？	25
Q30.	今回の国による処遇改善について評価しますか？	27
Q31.	政府が進める看護職員等処遇改善に関してご意見があれば教えてください。	29
Q32.	その他現場で困っていることがあれば教えてください。	29

Q1. 都道府県名入力してください

表 1 都道府県

No	都道府県	n	%
1	岐阜	1253	12.9%
2	静岡	1056	10.9%
3	新潟	588	6.1%
4	沖縄	577	6.0%
5	富山	526	5.4%
6	島根	485	5.0%
7	石川	466	4.8%
8	広島	435	4.5%
9	兵庫	337	3.5%
10	栃木	290	3.0%
11	高知	289	3.0%
12	長野	260	2.7%
13	福島	224	2.3%
14	愛知	214	2.2%
15	三重	214	2.2%
16	大分	208	2.1%
17	宮城	192	2.0%
18	福井	188	1.9%
19	山梨	173	1.8%
20	宮崎	157	1.6%
21	徳島	140	1.4%
22	北海道	139	1.4%
23	香川	136	1.4%
24	茨城	122	1.3%

No	都道府県	n	%
25	福岡	106	1.1%
26	鳥取	103	1.1%
27	山口	99	1.0%
28	鹿児島	84	0.9%
29	佐賀	80	0.8%
30	熊本	70	0.7%
31	大阪	68	0.7%
32	長崎	63	0.7%
33	和歌山	63	0.7%
34	滋賀	43	0.4%
35	奈良	39	0.4%
36	神奈川	37	0.4%
37	岡山	33	0.3%
38	秋田	33	0.3%
39	千葉	24	0.2%
40	愛媛	14	0.1%
41	青森	12	0.1%
42	東京	10	0.1%
43	埼玉	8	0.1%
44	京都	8	0.1%
45	群馬	7	0.1%
46	山形	5	0.1%
47	岩手	4	0.0%
	総計	9682	100.0%

Q2. 年代を選択してください。

表 2 年代

年代	n	%
20代	2030	21.0%
30代	2409	24.9%
40代	2996	30.9%
50代	1932	20.0%
60代以上	315	3.3%
総計	9682	100.0%

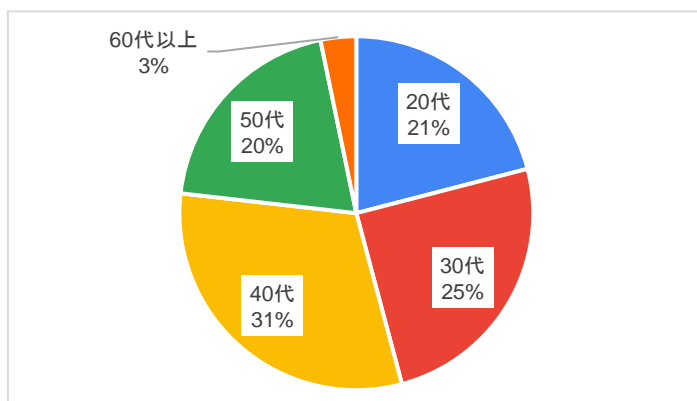


図 1 年代

Q3. 雇用形態を選択してください。(最も該当するものを選択してください)

表 3 雇用形態

雇用形態	n	%
正規職員	9126	94.3%
非正規職員(会計年度任用職員、パート・アルバイト)	407	4.2%
再任用(再雇用)職員	149	1.5%
総計	9682	100.0%

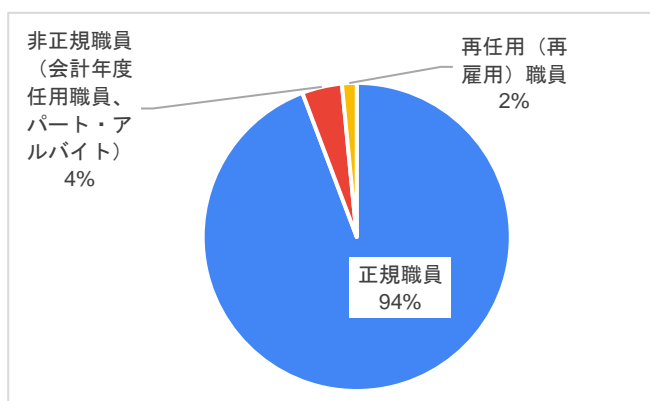


図 2 雇用形態

Q4. 性別を教えてください

表 4 性別

性別	n	%
女性	7530	77.8%
男性	2134	22.0%
その他	18	0.2%
総計	9682	100.0%

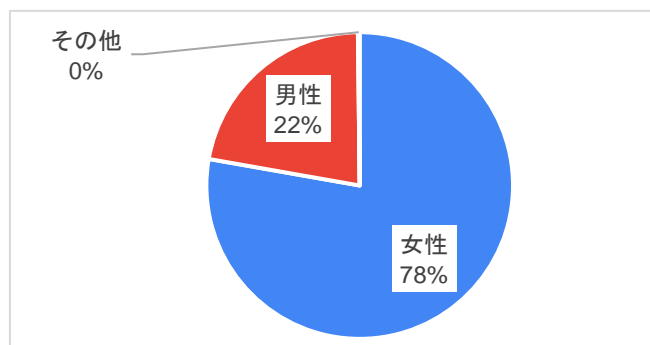


図 3 性別

Q5. あなたは、2022年1月以降、新型コロナウイルス感染症患者(疑い者)に直接かかわる業務をしましたか？

表 5 コロナ患者に直接かかわる業務の有無

	n	%
ある	7218	74.8%
ない	2430	25.2%
総計	9648	100.0%

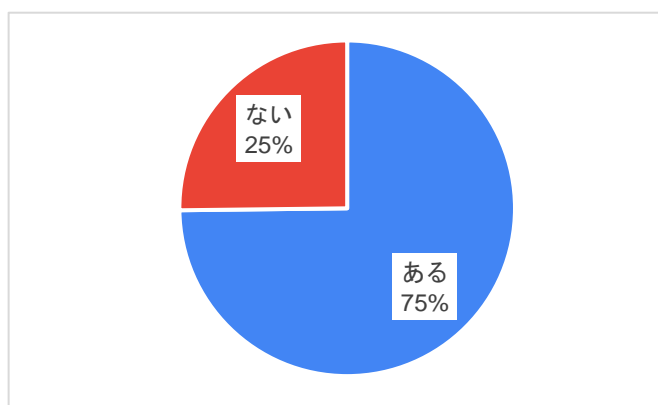


図 4 コロナ患者に直接かかわる業務の有無

Q6. 職種を選択してください（医療）

表 6 職種

職種	n	%
看護師	5907	61.0%
事務系職員	499	5.2%
臨床検査技師	457	4.7%
理学療法士	390	4.0%
診療放射線技師	349	3.6%
薬剤師	347	3.6%
助産師	288	3.0%
管理栄養士	192	2.0%
作業療法士	190	2.0%
臨床工学技士	179	1.8%
看護助手	169	1.7%
医療ソーシャルワーカー (MSW)	120	1.2%
言語聴覚士	88	0.9%
准看護師	63	0.7%
医師事務補助者	57	0.6%
介護福祉士	54	0.6%
公認心理師	51	0.5%

職種	n	%
給食調理員	43	0.4%
歯科衛生士	39	0.4%
精神保健福祉士 (PSW)	39	0.4%
視能訓練士	33	0.3%
保育士	24	0.2%
施設管理	20	0.2%
保健師	19	0.2%
医師	10	0.1%
ケアマネジャー	8	0.1%
栄養士	6	0.1%
診療情報管理士	6	0.1%
看護教員	3	0.0%
研究職	2	0.0%
調剤助手	2	0.0%
歯科技工士	2	0.0%
その他	26	0.3%
総計	9682	100.0%

Q7. 2022年1月以降ご自身がコロナ感染や濃厚接触者となり仕事を休んだことはありますか？

47.2%がコロナ感染や濃厚接触者となり仕事を休んだことあると回答し、50人以上回答があった職種別では助産師が92%で最も高く、次いで看護師88.6%、臨床工学技士81.0%であった。

表 7 コロナ感染や濃厚接触者による欠勤の有無

	n	%
ある	7341	76.3%
ない	2282	23.7%
総計	9623	100.0%

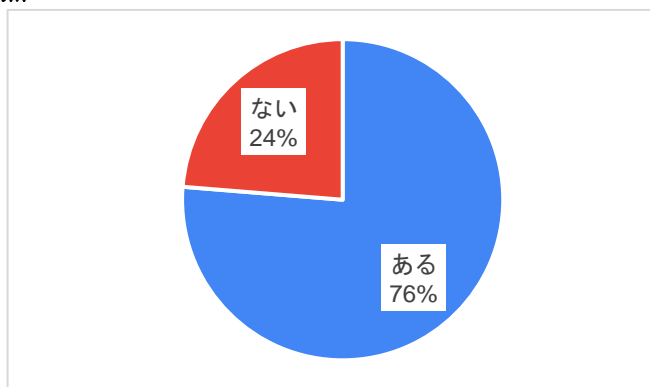


図 5 コロナ感染や濃厚接触者による欠勤の有無

表 8 職種別のコロナ感染や濃厚接触者による欠勤の有無（50人以上回答のあった職種のみ）

	ある	ない		ある	ない
助産師	92.4%	7.6%	理学療法士	58.9%	41.1%
看護師	86.6%	13.4%	看護助手	57.7%	42.3%
臨床工学技士	81.0%	19.0%	管理栄養士	51.3%	48.7%
介護福祉士	79.2%	20.8%	言語聴覚士	47.6%	52.4%
診療放射線技師	77.1%	22.9%	医師事務補助者	33.3%	66.7%
薬剤師	72.3%	27.7%	事務系職員	31.7%	68.3%
臨床検査技師	70.6%	29.4%	公認心理師	23.5%	76.5%
作業療法士	66.3%	33.7%	MSW	21.2%	78.8%
准看護師	65.1%	34.9%	総計の割合	76.3%	23.7%

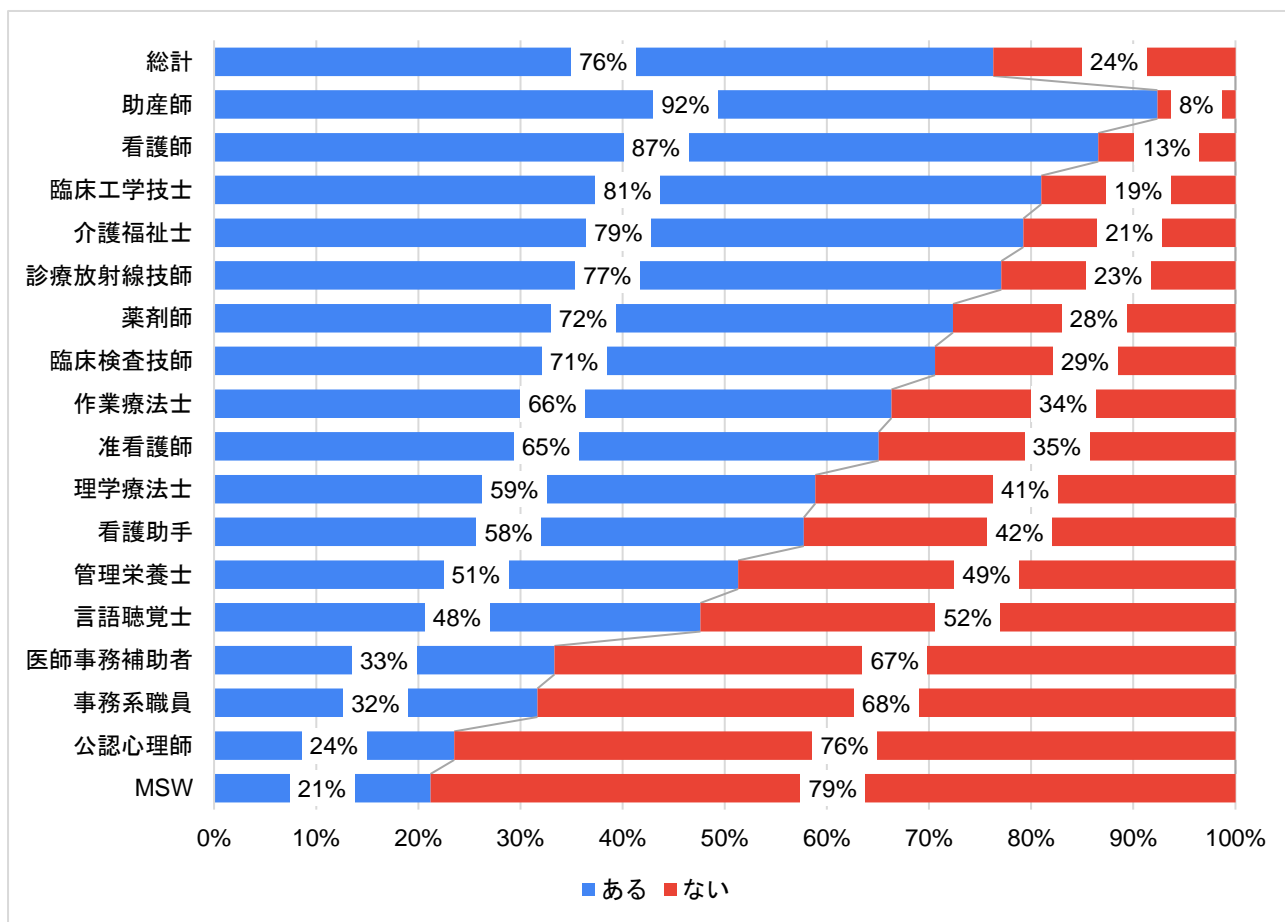


図 6 職種別のコロナ感染や濃厚接触者による欠勤の有無（50人以上回答のあった職種のみ）

Q8. 2022年1月以降、時間外労働が一番多かった月の時間数を教えてください

89.2%が40時間未満、40時間から80未満が8.5%、過労死ラインの80時間以上が2.3%であった。

表 9 時間外労働が一番多かった月の時間数（詳細）

	n	%
10時間未満	3470	36.5%
10時間以上 20時間未満	2981	31.3%
20時間以上 40時間未満	2035	21.4%
40時間以上 60時間未満	633	6.7%
60時間以上 80時間未満	175	1.8%
80時間以上 100時間未満	69	0.7%
100時間以上 120時間未満	38	0.4%
120時間以上 140時間未満	14	0.1%
140時間以上 160時間未満	12	0.1%
160時間以上 180時間未満	28	0.3%
180時間以上 200時間未満	21	0.2%
200時間以上 220時間未満	9	0.1%
220時間以上 240時間未満	4	0.0%
240時間以上 260時間未満	4	0.0%
260時間以上 280時間未満	7	0.1%
300時間以上	16	0.2%
総計	9516	100.0%

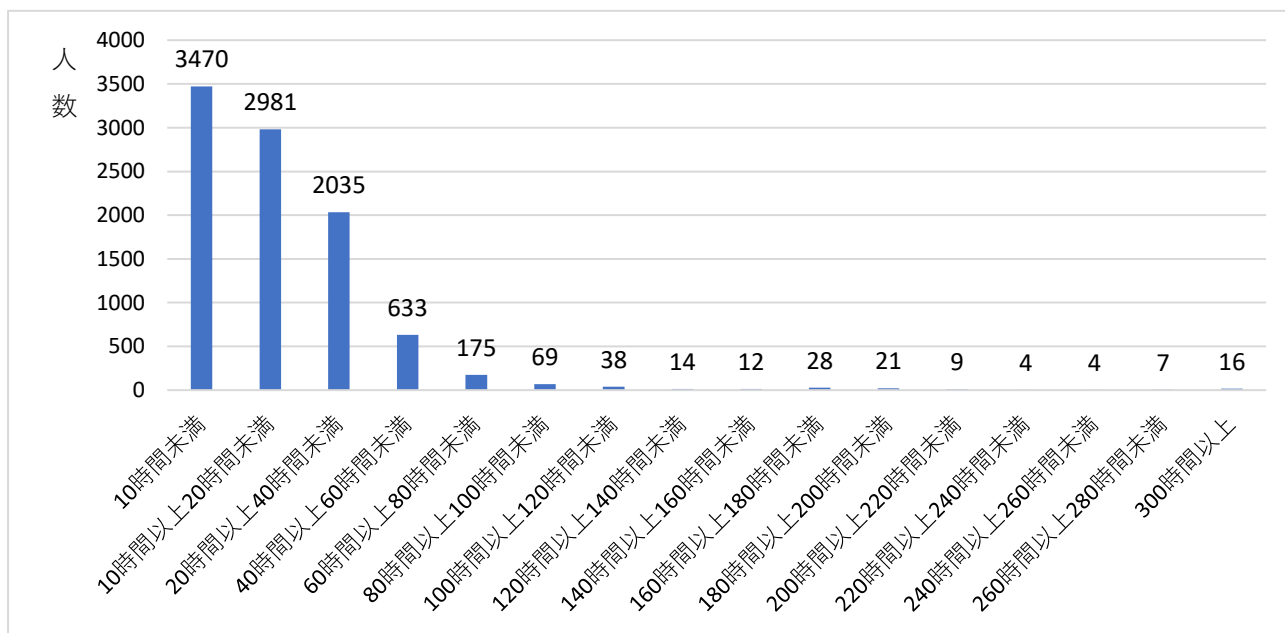


図 7 時間外労働が一番多かった月の時間数（詳細）

表 10 時間外労働が一番多かった月の時間数（概要）

	n	%
40 時間未満	8486	89.2%
40 時間～80 時間未満	808	8.5%
80 時間以上	222	2.3%
総計	9516	100.0%

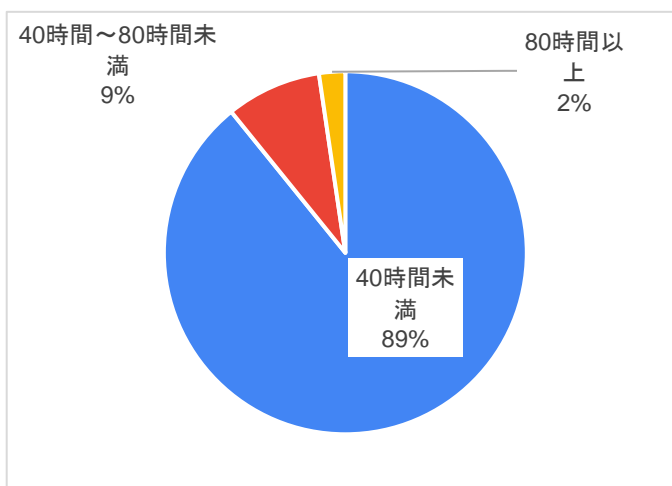


図 8 時間外労働が一番多かった月の時間数（概要）

Q9. 2022 年 1 月以降、時間外勤務が一番多かったのは何月ですか？

最も多いと回答したのは 8 月（15.4%）で、次いで 11 月（13.6%）であった。

表 11 時間外労働が一番多かった月

	n	%
1 月	294	3.4%
2 月	232	2.7%
3 月	398	4.7%
4 月	636	7.5%
5 月	517	6.1%
6 月	471	5.5%

7 月	608	7.1%
8 月	1315	15.4%
9 月	827	9.7%
10 月	1088	12.8%
11 月	1158	13.6%
12 月	979	11.5%
総計	8523	100.0%

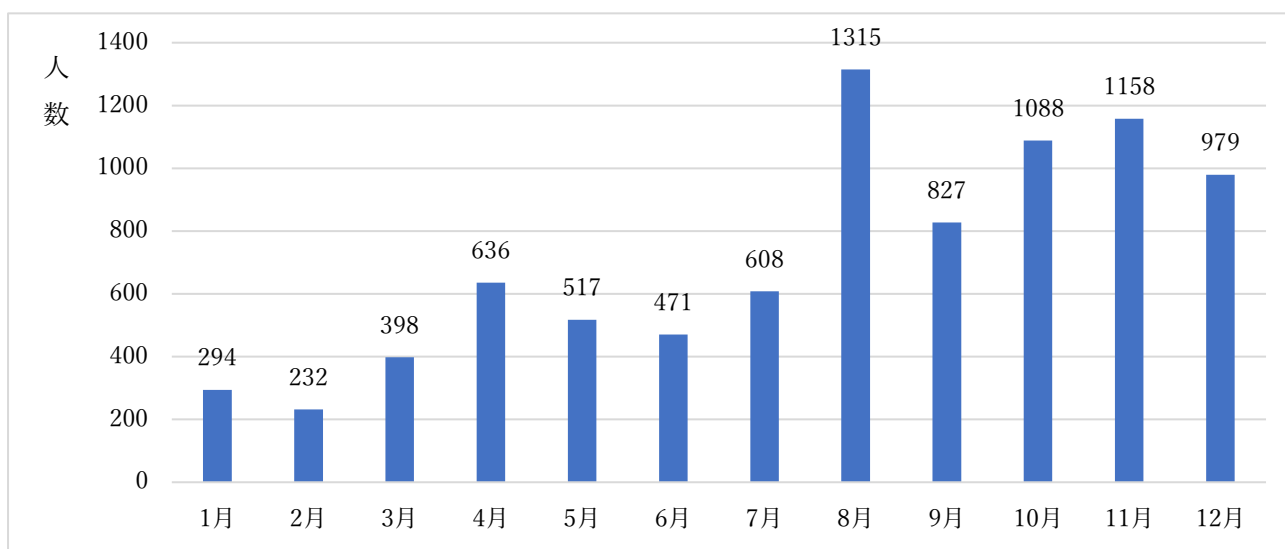


図 9 時間外労働が一番多かった月

Q10. 2022年1月以降で、医療従事者であるということで、新型コロナウイルス関連の差別や偏見を受けたと感じたことはありますか？

12.3%が差別・偏見を受けたことがある（自分も家族も受けたことがある 3.0%、自分が受けたことがある 7.5%、自分はないが家族が受けたことがある 1.9%）と回答し、昨年度 22.7%よりも 10.4 ポイント低下しているもののいまだに医療従事者への差別・偏見はある結果となった。

表 12 差別や偏見の有無

	n	%
自分も家族も受けたことがある	291	3.0%
自分が受けたことがある	719	7.5%
自分はないが家族が受けたことがある	180	1.9%
自分も家族も受けたことはない	8412	87.6%
総計	9602	100.0%

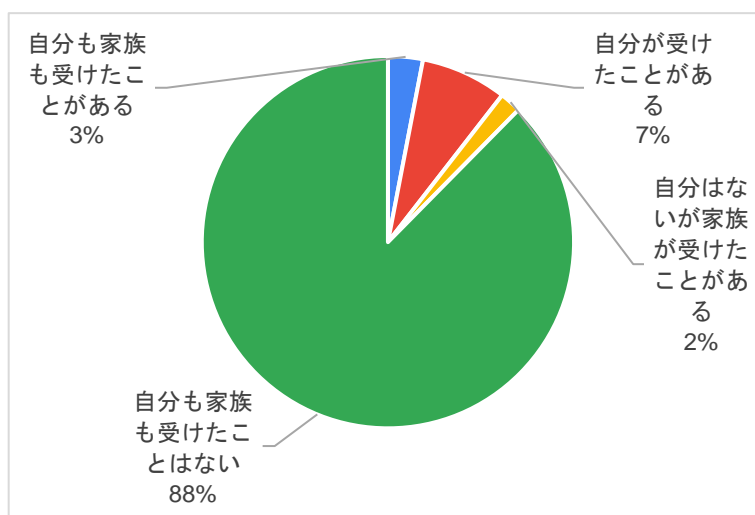


図 10 差別や偏見の有無

Q11. 差別・偏見はいつ頃どのようなものがありましたか？

725 件の自由記載あり * 別記載

Q12. 2022年1月以降で、ご自身にうつ的な症状はありましたか？

27.2%がうつ的な症状があると回答し、昨年度 23%より 4.2 ポイント増加し、悪化傾向である。

表 13 うつ的な症状の有無

	n	%
ある	2624	27.2%
ない	7007	72.8%
総計	9631	100.0%

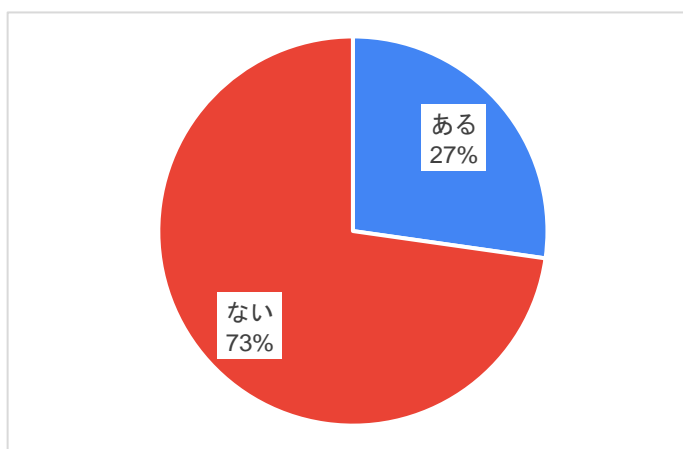


図 11 うつ的な症状の有無

Q13. 「ある」と回答された方にお聞きします。どのような症状でしたか？（3つまで選択してください）

「気分の落ち込み」が最も多く、次いで「不安」、「意欲が沸かない」であった。

表 14

	n
気分の落ち込み	2140
不安	1146
意欲が沸かない	969
寝つきが悪い	766
眠れない	687
集中力が落ちる	683
仕事の効率が悪くなりミスが増える	326
食欲がない	208
その他:	75

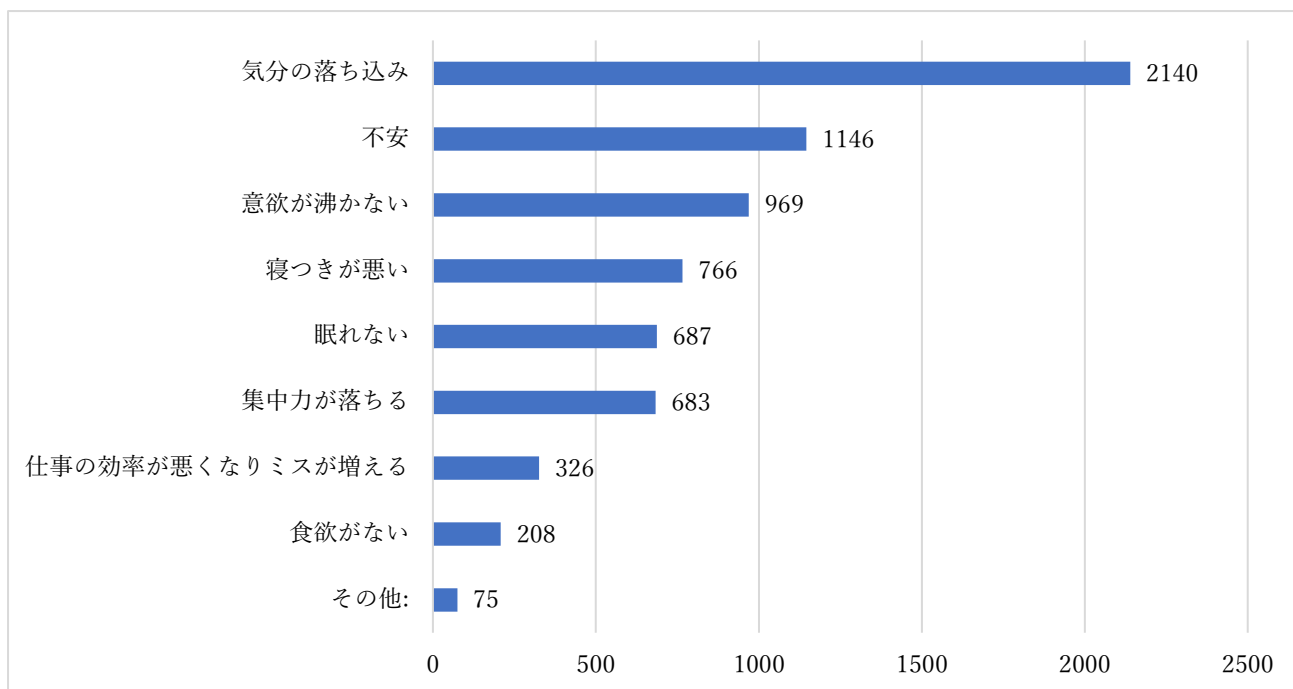


図 12 うつ的な症状の内容

Q14. コロナ感染拡大前と比べて、現場において患者および患者家族からの迷惑行為や悪質なクレーム（カスタマーハラスメント）の数は変化しましたか？

23.1%がコロナ感染拡大前に比べ増えた（増加した 6.4%、やや増加した 16.7%）となっている。

表 15 カスタマーハラスメント数の変化

	n	%
増加した	607	6.4%
やや増加した	1569	16.7%
変わらない	6839	72.6%
やや減少した	188	2.0%
減少した	211	2.2%
総計	9414	100.0%

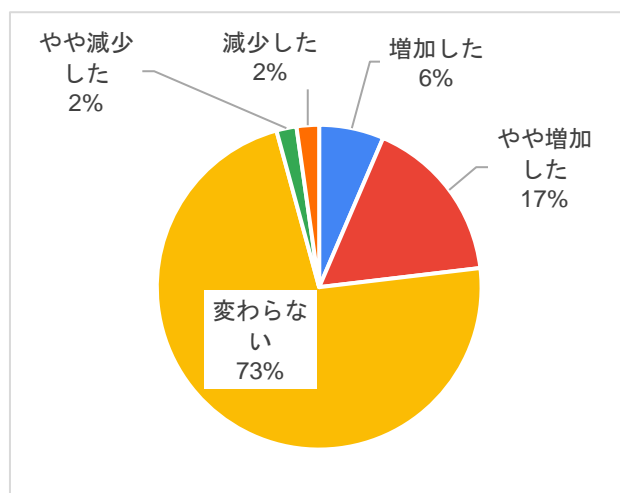


図 13 カスタマーハラスメント数の変化

Q15. 2022年1月以降、患者および患者家族から迷惑行為や悪質なクレーム（カスタマーハラスメント）を受けたことがありますか？

15.5%が2022年1月以降カスタマーハラスメントを受けている（自分が日常的に受けている1.1%、時々受けている14.4%）と回答し、自分はないが周りが受けている26.3%となっている。

表 16 カスタマーハラスメントの有無

	n	%
自分が日常的に受けている	103	1.1%
自分が時々受けている	1357	14.4%
自分はないが、職場で受けた人がある	2485	26.3%
自分が受けたことはなく、職場にもいない	5494	58.2%
総計	9439	100.0%

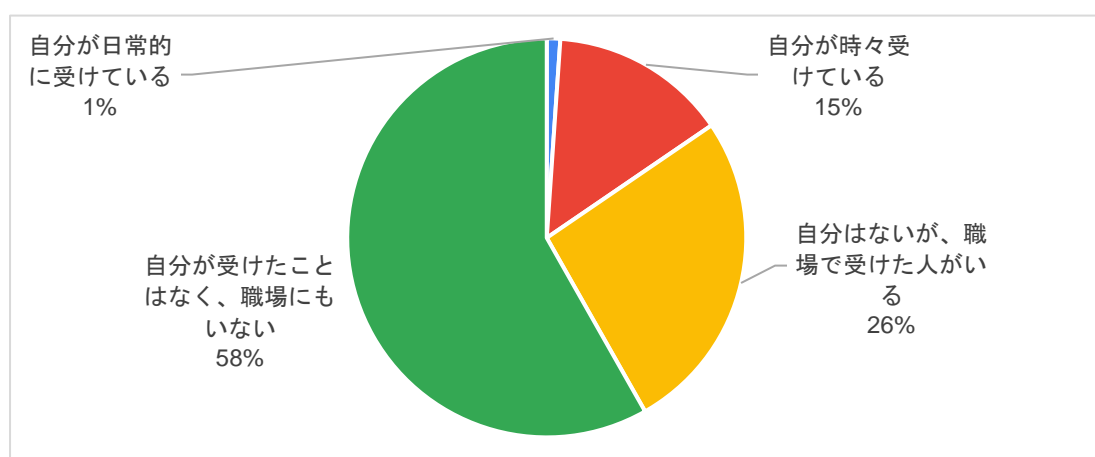


図 14 カスタマーハラスメントの有無

表 17 カスタマーハラスメントの有無とコロナ対応の有無

	自分が日常的に受けている	自分が時々受けている	自分はないが、職場で受けた人がある	自分が受けたことはなく、職場にもいない	総計
コロナ対応無	9	187	501	1658	2355
コロナ対応有	93	1168	1977	3817	7055
総計	102	1355	2478	5475	9410

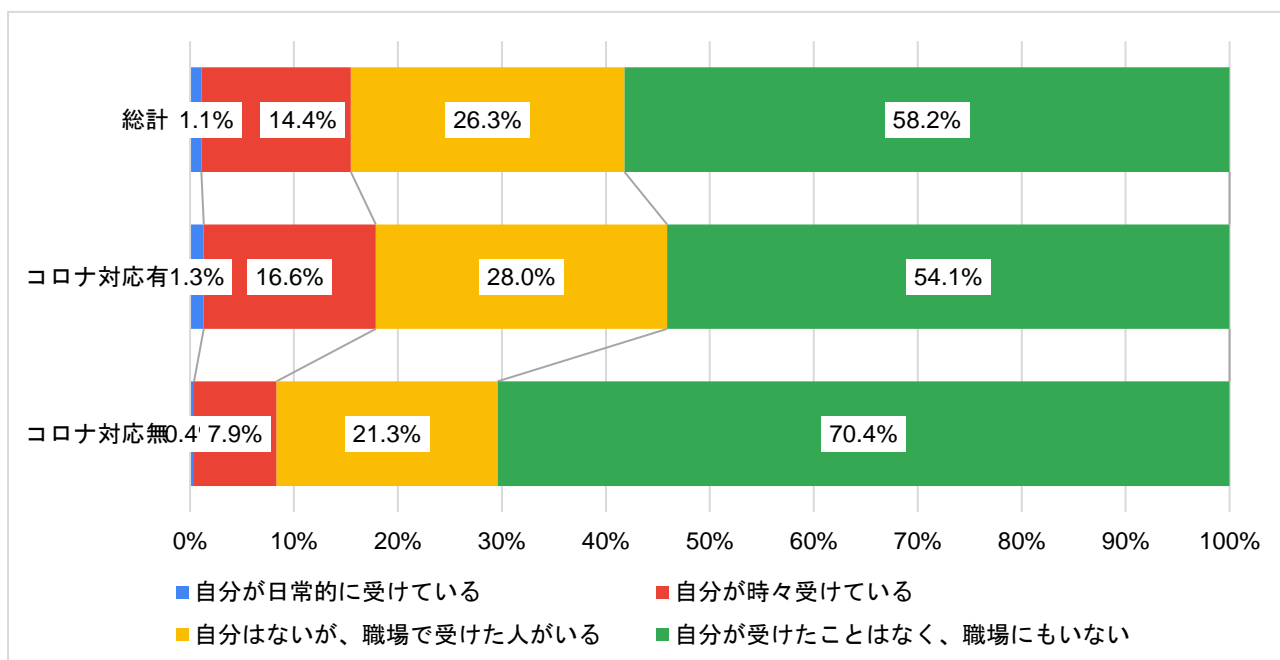


図 15 カスタマーハラスメントの有無とコロナ対応の有無

表 18 カスタマーハラスメントの有無とうつの症状の有無

	うつの症状有	うつの症状無	総計
自分が日常的に受けている	64	39	103
自分が時々受けている	558	796	1354
自分はないが、職場で受けた人がある	766	1714	2480
自分が受けたことはなく、職場にもいない	1179	4292	5471
総計	2567	6841	9408

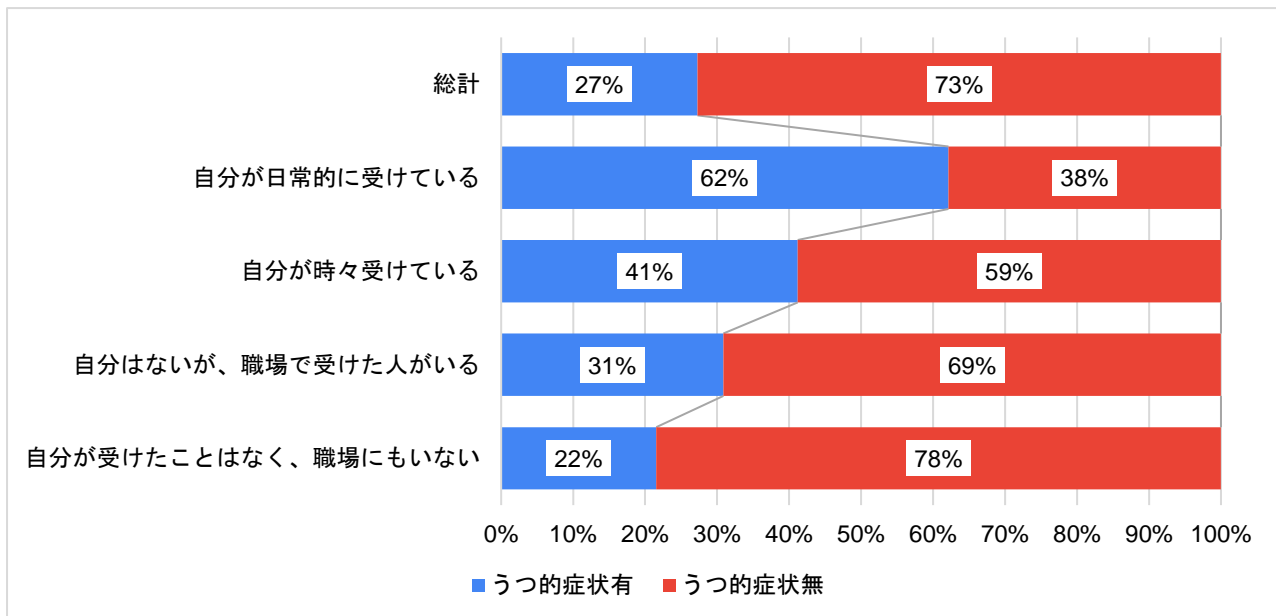


図 16 カスタマーハラスメントの有無とうつの症状の有無

表 19 カスタマーハラスメントの有無と離職検討の有無

	常に辞めたい と思っている	しばしば辞めたいと 思うことがある	たまに辞めたい と思う	辞めたいとは思 わない	総計
自分が日常的に受けている	44	25	23	10	102
自分が時々受けている	314	416	435	189	1354
自分はないが、職場で受けた人がいる	362	603	975	541	2481
自分が受けたことはなく、職場にもいない	624	1012	1976	1865	5477
総計	1344	2056	3409	2605	9414

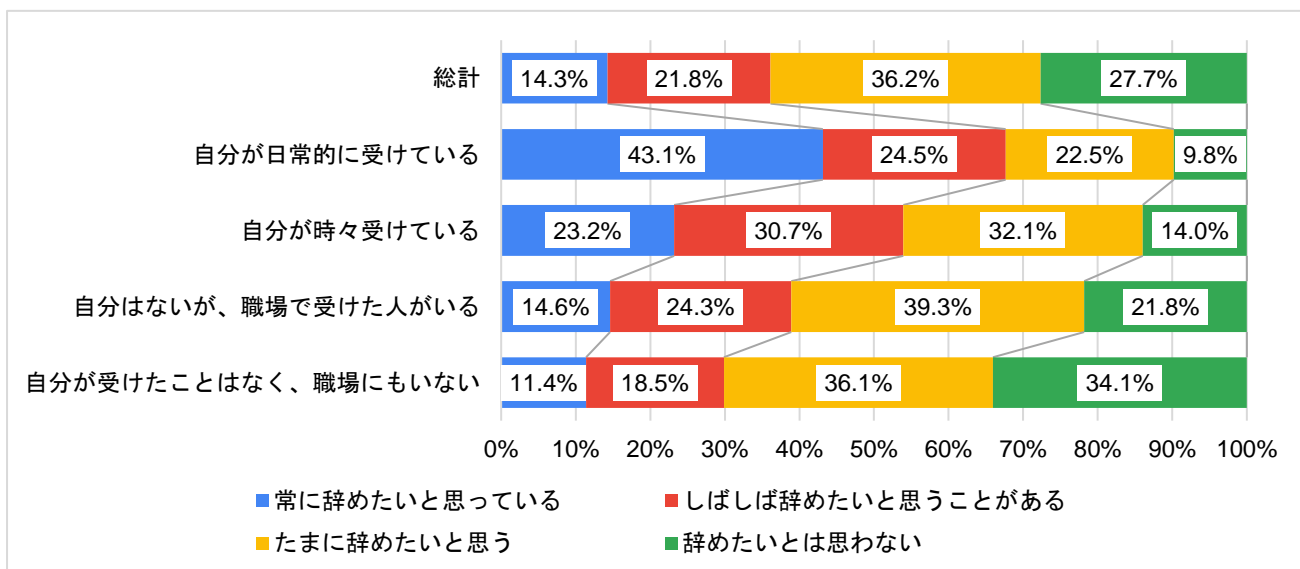


図 17 カスタマーハラスメントの有無と離職検討の有無

Q16. 迷惑行為や悪質クレームを「受けている」と「自分はないが、職場で受けた人がいる」と答えた方にお尋ねします。どのようなものでしたか？（上位に該当するものを3つまで選択してください）
「暴言や説教」が最も多く、次いで「大声・罵声・脅迫（土下座の強要）」、「複数回に及ぶクレーム」であった。

表 20 カスタマーハラスメントの内容

	n
暴言や説教	2198
大声・罵声・脅迫(土下座の強要)	1270
複数回に及ぶクレーム	1091
長時間のクレームや居座り	859
勤務先への投書や苦情	618
暴力行為	452
担当者の交替や上司との面談の要求	372
セクハラ行為	184
弁償や金品の要求	51
SNS・インターネットでの誹謗中傷	48
職員や職場の写真の公開	10
ストーカー行為	10

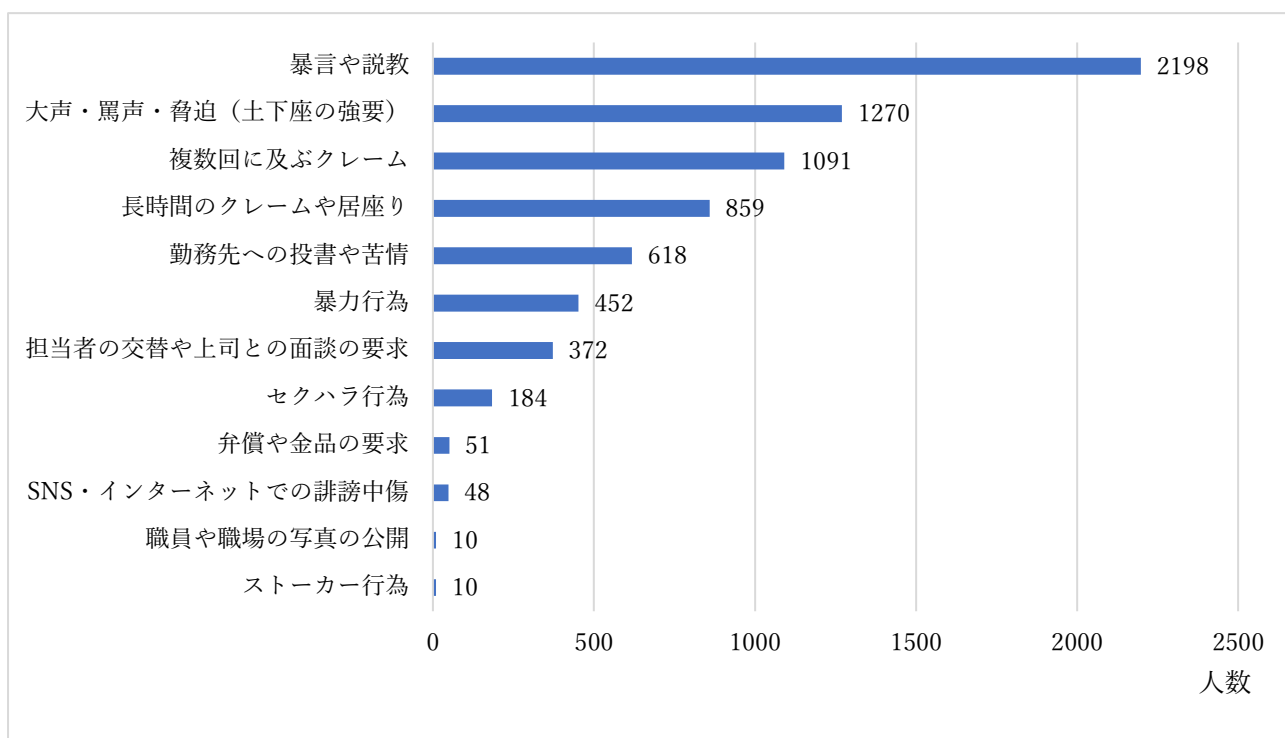


図 18 カスタマーハラスメントの内容

Q17. 迷惑行為や悪質クレームについてどのようなものがありましたか？（実際にあったことを可能な範囲で教えてください）

1112 件の自由記載あり *別記載

Q18. 2022 年 1 月以降で職員のコロナ感染や濃厚接触等による休みのため急な勤務変更（シフト変更）、休日出勤、休日の変更を経験したことはありますか？

76.3%が急な勤務変更を経験し、職種別では助産師が 92.4%で最も多く、次いで看護師 86.6%、臨床工学技士 81.0%となっている。

表 21 職員のコロナ感染や濃厚接触等による休みのため急な勤務変更の有無

	n	%
ある	7341	76.3%
ない	2282	23.7%
総計	9623	100.0%

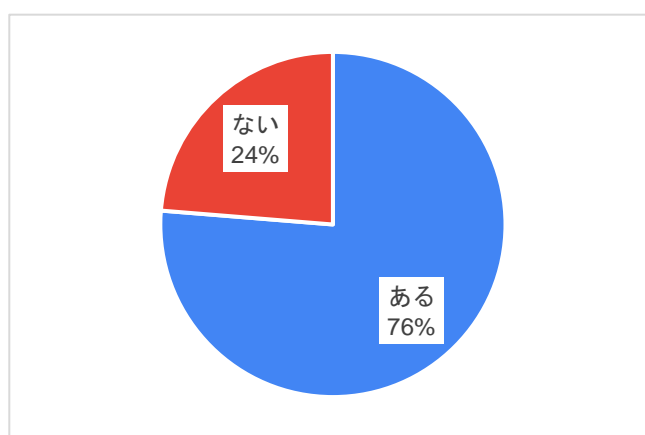


図 19 職員のコロナ感染や濃厚接触等による休みのため急な勤務変更の有無

表 22 職種別の職員のコロナ感染や濃厚接触等による休みのため急な勤務変更の有無 (50 人以上回答のあった職種)

	ある	ない
助産師	92.4%	7.6%
看護師	86.6%	13.4%
臨床工学技士	81.0%	19.0%
介護福祉士	79.2%	20.8%
診療放射線技師	77.1%	22.9%
薬剤師	72.3%	27.7%
臨床検査技師	70.6%	29.4%
作業療法士	66.3%	33.7%
准看護師	65.1%	34.9%

	ある	ない
理学療法士	58.9%	41.1%
看護助手	57.7%	42.3%
管理栄養士	51.3%	48.7%
言語聴覚士	47.6%	52.4%
医師事務補助者	33.3%	66.7%
事務系職員	31.7%	68.3%
公認心理師	23.5%	76.5%
MSW	21.2%	78.8%
総計	76.3%	23.7%

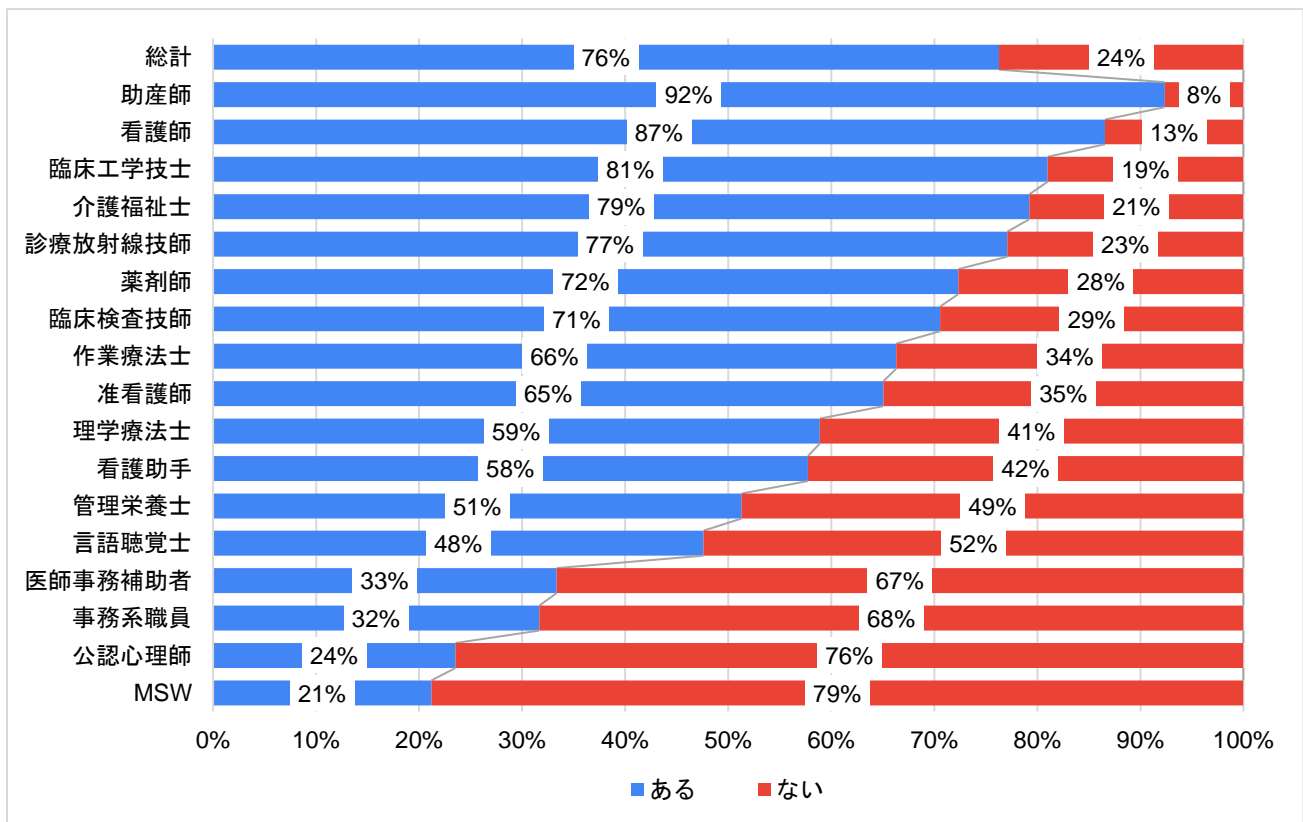


図 20 職種別の職員のコロナ感染や濃厚接触等による休みのため急な勤務変更の有無
(50人以上回答のあった職種)

Q19. コロナ感染拡大前と比べて、休暇取得について変化はありましたか？
47.3%がコロナ感染拡大前より「難しくなった」となっている。

表 23 休暇の取得

	n	%
取得しやすくなった	202	2.1%
特段の変化はない	4858	50.6%
難しくなった	4542	47.3%
総計	9602	100.0%

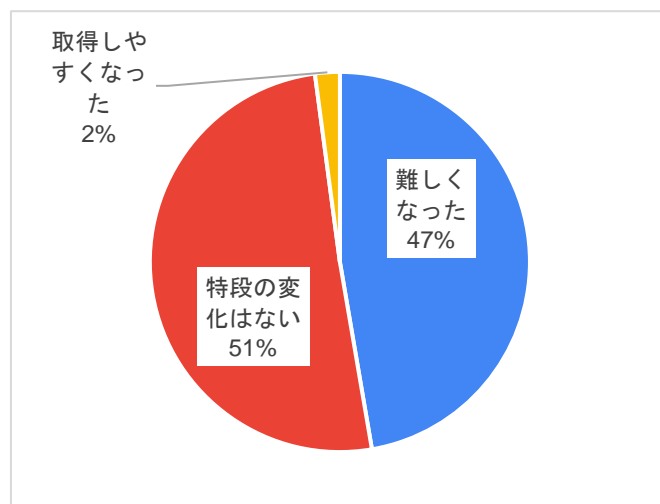


図 21 休暇の取得

Q20. コロナ感染拡大前と比べて、知人や友人と過ごす時間に変化はありましたか？
 91.8%が少なくなった（減った75.8%、がやや減った16.0%）となっている。

表 24 知人や友人との時間

	n	%
減った	7308	75.8%
やや減った	1544	16.0%
変化はない	647	6.7%
やや増加した	67	0.7%
増加した	71	0.7%
総計	9637	100.0%

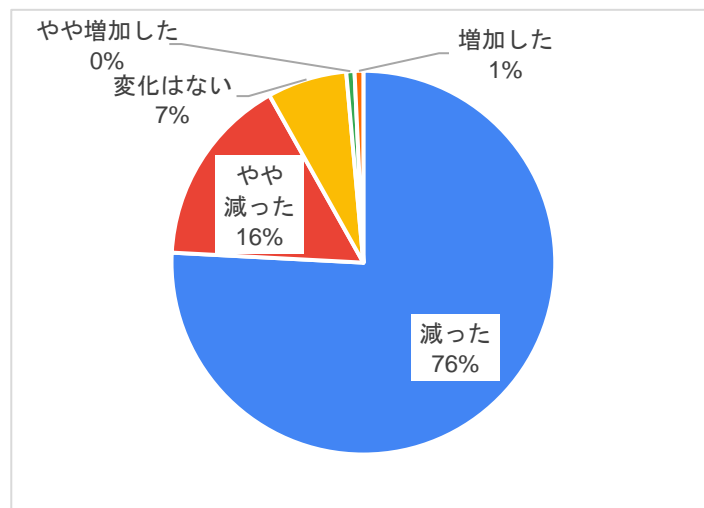


図 22 知人や友人との時間

Q21. 2022年1月以降で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置がない時期に職場独自のプライベートを制限する指示はありましたか？
 91%（会食と移動63.2%、会食に関する制限22.8%、移動に関する制限3.4%、その他制限1.5%）が職場独自の制限を受けている。

表 25 職場からのプライベートの制限

	n	%
会食と移動に関する制限があった	6068	63.2%
会食に関する制限があった	2190	22.8%
ない	872	9.1%
移動に関する制限があった	324	3.4%
その他制限	145	1.5%
総計	9599	100.0%

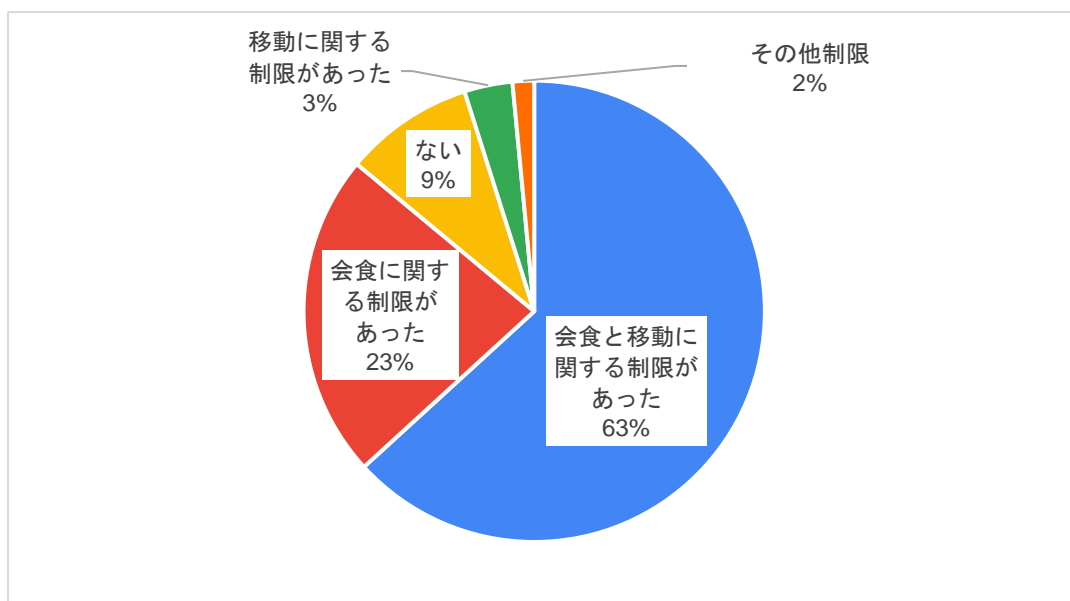


図 23 職場からのプライベートの制限

Q22. 休暇や行動制限について意見があれば教えてください。

1520 件の自由記載あり *別記載

Q23. 現在の職場を辞めたいと思っていますか？

72.3%が仕事を辞めたいと思う(常に辞めたい 14.3%、しばしば辞めたい 21.9%、たまに辞めたい 36.2%)と回答し、昨年度 69%から 3.3 ポイント増加している。

表 26 離職の検討

	n	%
常に辞めたいと思っている	1373	14.3%
しばしば辞めたいと思うことがある	2106	21.9%
たまに辞めたいと思う	3486	36.2%
辞めたいとは思わない	2669	27.7%
総計	9634	100.0%

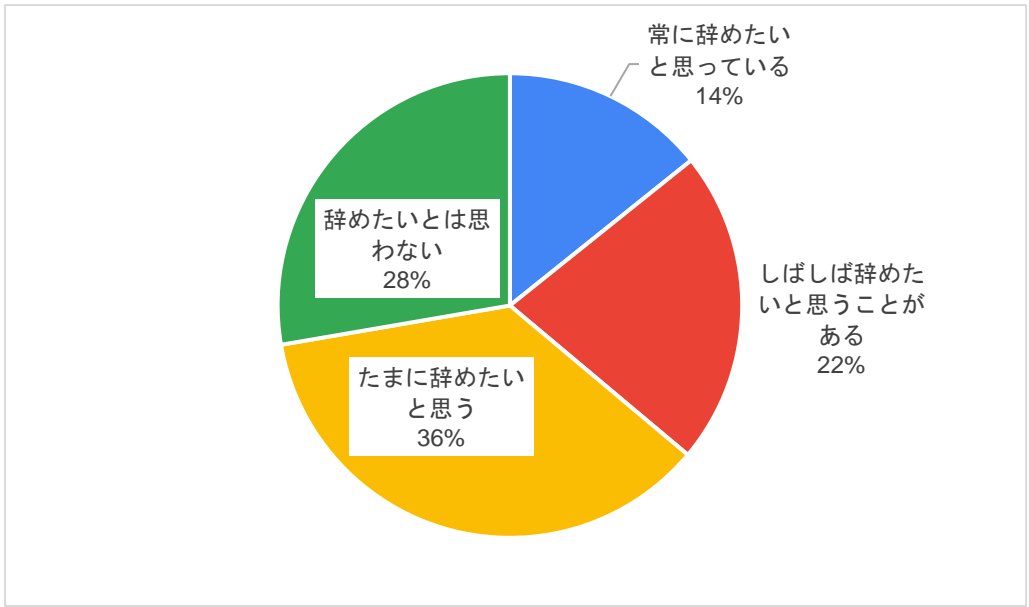


図 24 離職の検討

Q24. 辞めたいと思う理由は何ですか？（該当するものを3つまで選択してください）

辞めたいと思う理由は「業務が多忙」が最も多く、次いで「賃金に不満」、「業務の責任が重い」とであった。

表 27 離職検討の理由

	n		n
業務が多忙	3963	労働時間が長い	643
賃金に不満	1979	プライベートの制限	621
業務の責任が重い	1930	ライフイベント(結婚、育児、介護など)	488
人員不足	1760	自分の能力を活かせない	342
人間関係がよくない	1229	自身の病気やケガなど健康の問題	274
自身の体力の問題	937	キャリアアップのため	219
休暇が思うようにとれない	879	コロナ感染リスク	202
夜勤の負担	825	カスタマーハラスメント	51
パワーハラスメント	742	家族から辞めるように言われた	35
職場の先行き不安	654	セクシャルハラスメント	15
		その他	248

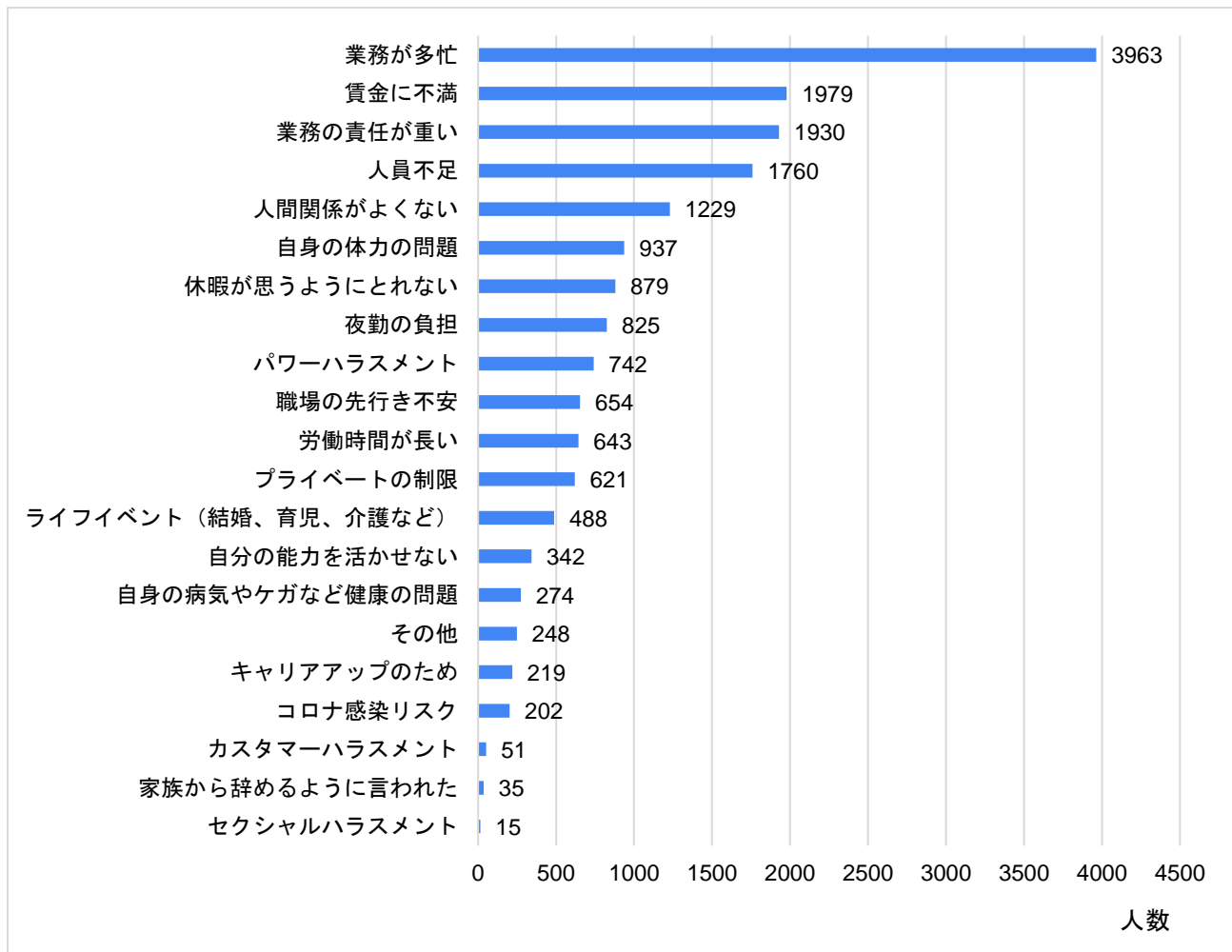


図 25 離職検討の理由

Q25. この3年間で業務量はどのように変化しましたか？

76.9%が増えた（増加した43.0%、やや増加した33.9%）が増加したと回答している。

表 28 業務量の変化

	n	%
増加した	4113	43.0%
やや増加した	3240	33.9%
変わらない	1868	19.5%
やや減少した	269	2.8%
減少した	70	0.7%
総計	9560	100.0%

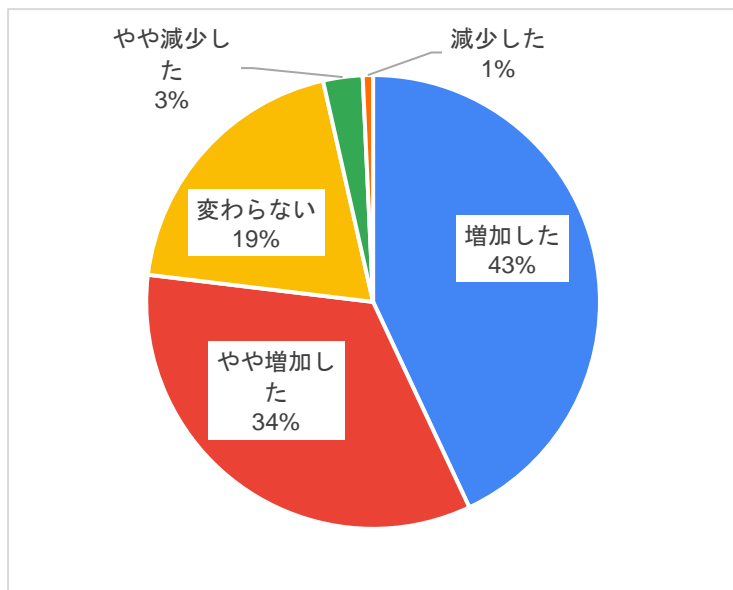


図 26 業務量の変化

Q26. コロナ患者対応以外で増えた業務はどのような業務ですか？

最も増加した業務が「電話対応」で、次いで「事務作業」、「付き添いや家族が行っていた行為」、「介護度の高い患者の対応」、「認知症患者の対応」であった。

表 29 増加した業務

	n
電話対応	2837
事務作業	2760
付き添いや家族が行っていたことの代行	2749
介護度の高い患者の対応	2187
認知症患者の対応	2150
高齢患者の対応	1902
委託業者が行っていた業務(清掃やリネン交換など)	1407
診療の補助(タスク・シフトシェア)	895
診療報酬に関連する入力作業	804
その他	504

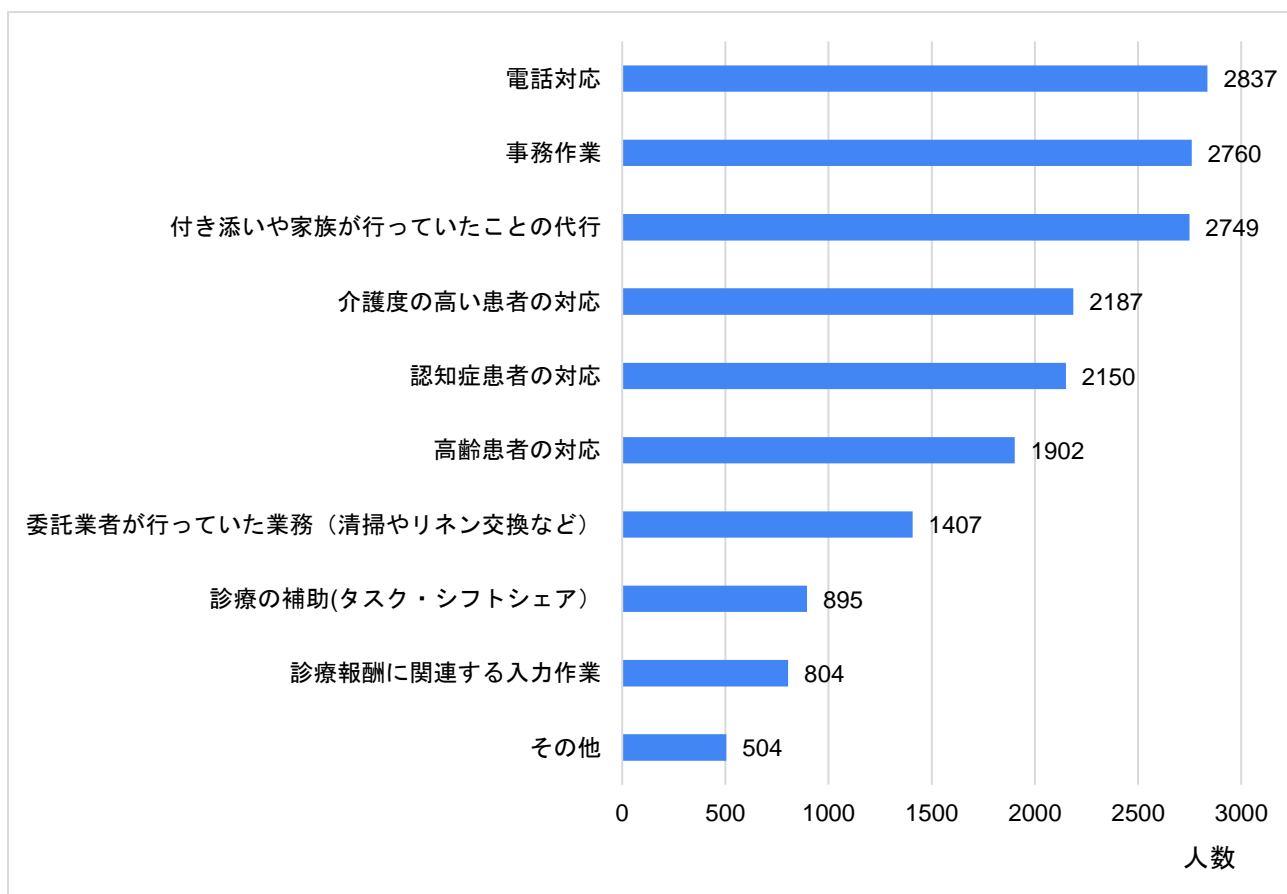


図 27 増加した業務

Q27. 現在の、あなたの職場の人員配置は、業務量に対して適切な人員配置ですか？
75.8%が人員不足（かなり少ない26.4%、やや少ない49.4%）と回答している。

表 30 職場の人員配置数

	n	%
かなり少ない	2514	26.4%
やや少ない	4711	49.4%
適正である	1849	19.4%
やや多い	333	3.5%
かなり多い	123	1.3%
総計	9530	100.0%

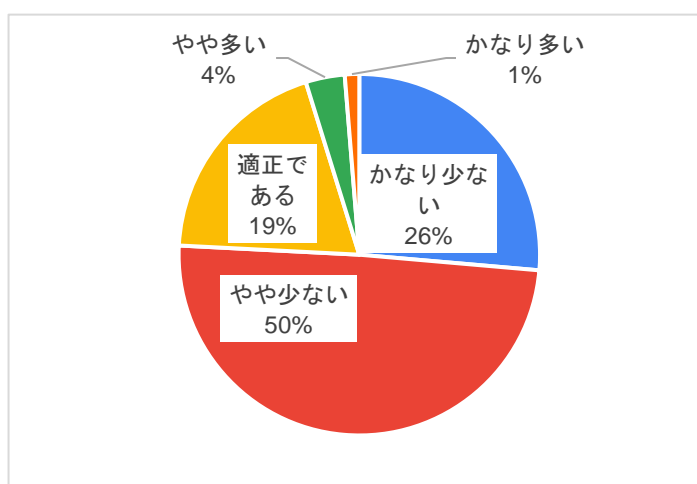


図 28 職場の人員配置数

表 31 職場の人員配置数（職種別）

	かなり多い	やや多い	適正である	やや少ない	かなり少ない	総計
看護師	75	147	806	2925	1871	5824
事務系職員	10	20	141	236	83	490
臨床検査技師	3	20	132	224	74	453
理学療法士	5	22	137	173	50	387
診療放射線技師	3	28	122	154	35	342
薬剤師	5	16	60	170	81	332
助産師	5	12	49	157	64	287
管理栄養士	0	10	71	84	23	188
作業療法士	2	9	57	98	19	185
臨床工学技士	8	11	44	81	35	179
看護助手	4	5	23	87	46	165
MSW	1	3	30	62	22	118
言語聴覚士	0	6	34	36	12	88
准看護師	0	1	12	31	19	63
介護福祉士	0	2	9	25	17	53
医師事務補助者	0	1	14	29	9	53
公認心理師	0	5	20	21	5	51
その他	2	15	88	118	49	272
総計	123	333	1849	4711	2514	9530

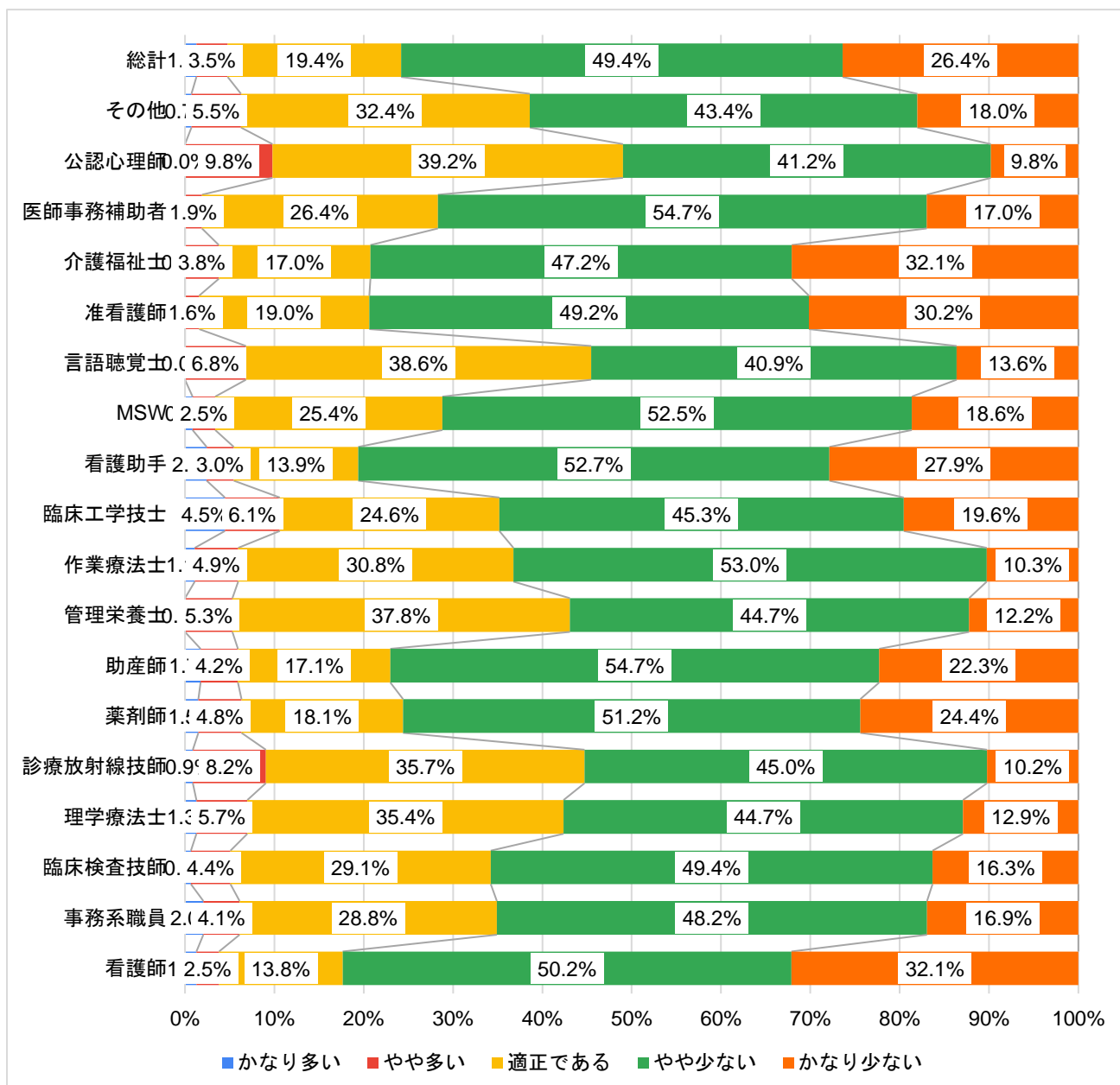


図 29 職場の人員配置数（職種別）

Q28. 今の職場の人員配置に対して、ご意見があれば教えてください。

1875 件の自由記載あり * 別記載

Q29. 政府が進めている看護職員等の処遇改善で、あなたの賃金は改善されましたか？

改善されたと回答したのは 16.2% で、改善されなかったは 43.1%、わからないが 40.7% であった。

職種別では改善されたと回答したのは割合が多い順では助産師 20.9%、次いで看護師 18.4%、診療放射線技師 18.0%、介護福祉士 17.3%、管理栄養士 17.1% となっている。制度の対象外であったが薬剤師 6.5%、事務職 8.2% となっている。改善については病院の自主財源を用いものと考えられる。

表 32 処遇改善の実施

	n	%
改善された	1532	16.2%
改善されなかった	4067	43.1%
わからない	3847	40.7%
総計	9446	100.0%

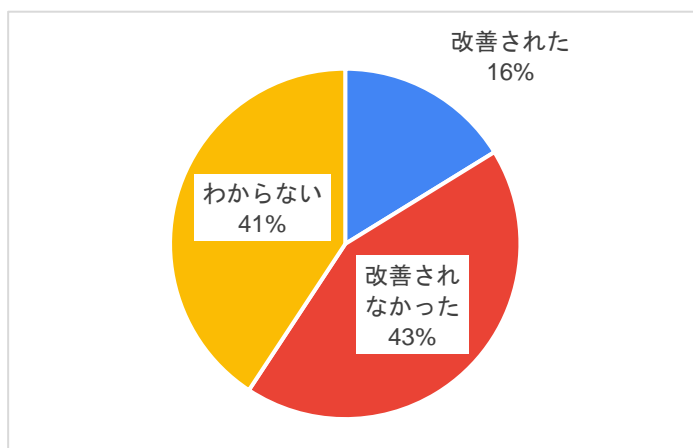


図 30 処遇改善の実施

表 33 処遇改善の実施（職種別 * 50 件以上回答のあった職種）

	改善された	改善されなかった	わからない	総計
看護師	1072	2339	2403	5814
事務系職員	39	256	179	474
臨床検査技師	59	203	183	445
理学療法士	59	199	127	385
診療放射線技師	61	170	108	339
薬剤師	21	180	121	322
助産師	60	101	126	287
作業療法士	21	82	80	183
管理栄養士	31	63	87	181
臨床工学技士	16	128	35	179
看護助手	17	74	76	167
MSW	15	49	52	116
言語聴覚士	8	35	43	86
准看護師	10	29	24	63
介護福祉士	9	17	26	52
その他	34	142	177	353
総計	1532	4067	3847	9446

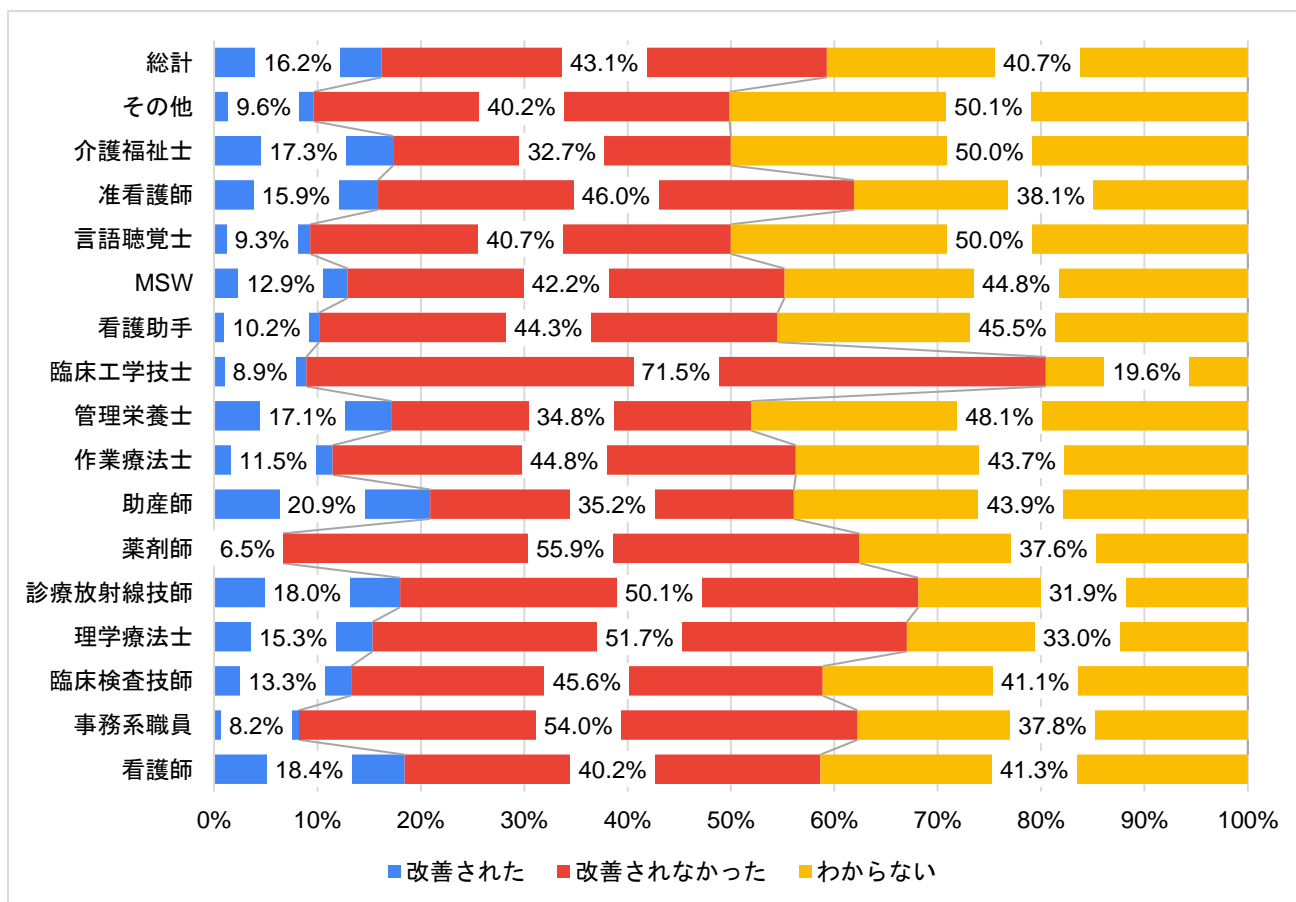


図 31 処遇改善の実施（職種別 * 50 件以上回答のあった職種）

Q30. 今回の国による処遇改善について評価しますか？

16.9%が評価している（評価する 3.4%、多少評価する 13.5%）、40.2%が評価していない（評価しない 20.0%、あまり評価しない 20.2%）となっている。

表 34 処遇改善の評価

	n	%
評価する	324	3.4%
多少評価する	1287	13.5%
どちらともいえない	4104	43.0%
あまり評価しない	1924	20.2%
評価しない	1907	20.0%
総計	9546	100.0%

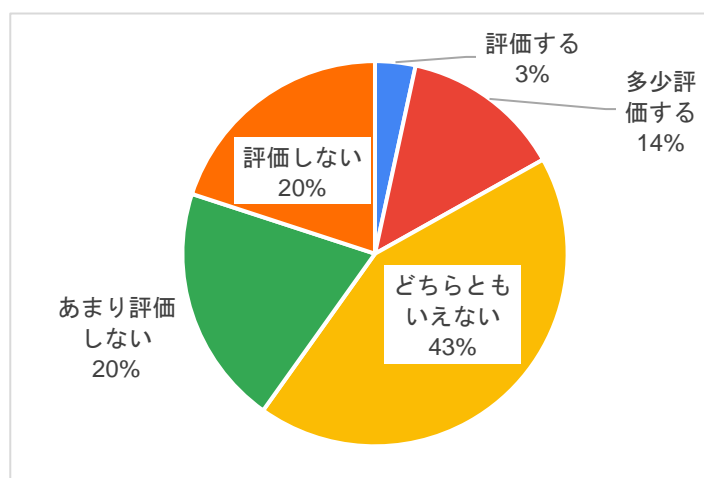


図 32 処遇改善の評価

表 35 処遇改善の評価（職種別*50件以上回答のあった職種）

	評価する	多少評価する	どちらともいえない	あまり評価しない	評価しない	総計
看護師	204	809	2423	1248	1161	5845
事務系職員	24	82	229	82	72	489
臨床検査技師	15	57	220	74	86	452
理学療法士	18	51	155	69	94	387
診療放射線技師	13	55	127	69	80	344
薬剤師	6	30	155	57	88	336
助産師	12	41	127	58	50	288
管理栄養士	8	25	109	27	17	186
作業療法士	3	25	91	29	37	185
臨床工学技士	2	17	59	40	61	179
看護助手	3	16	68	42	37	166
MSW	4	15	57	19	24	119
言語聴覚士	1	13	39	16	17	86
准看護師	1	7	27	15	13	63
医師事務補助者	1	3	29	12	8	53
介護福祉士	2	6	22	10	12	52
その他	7	35	167	57	50	376
総計	324	1287	4104	1924	1907	9546

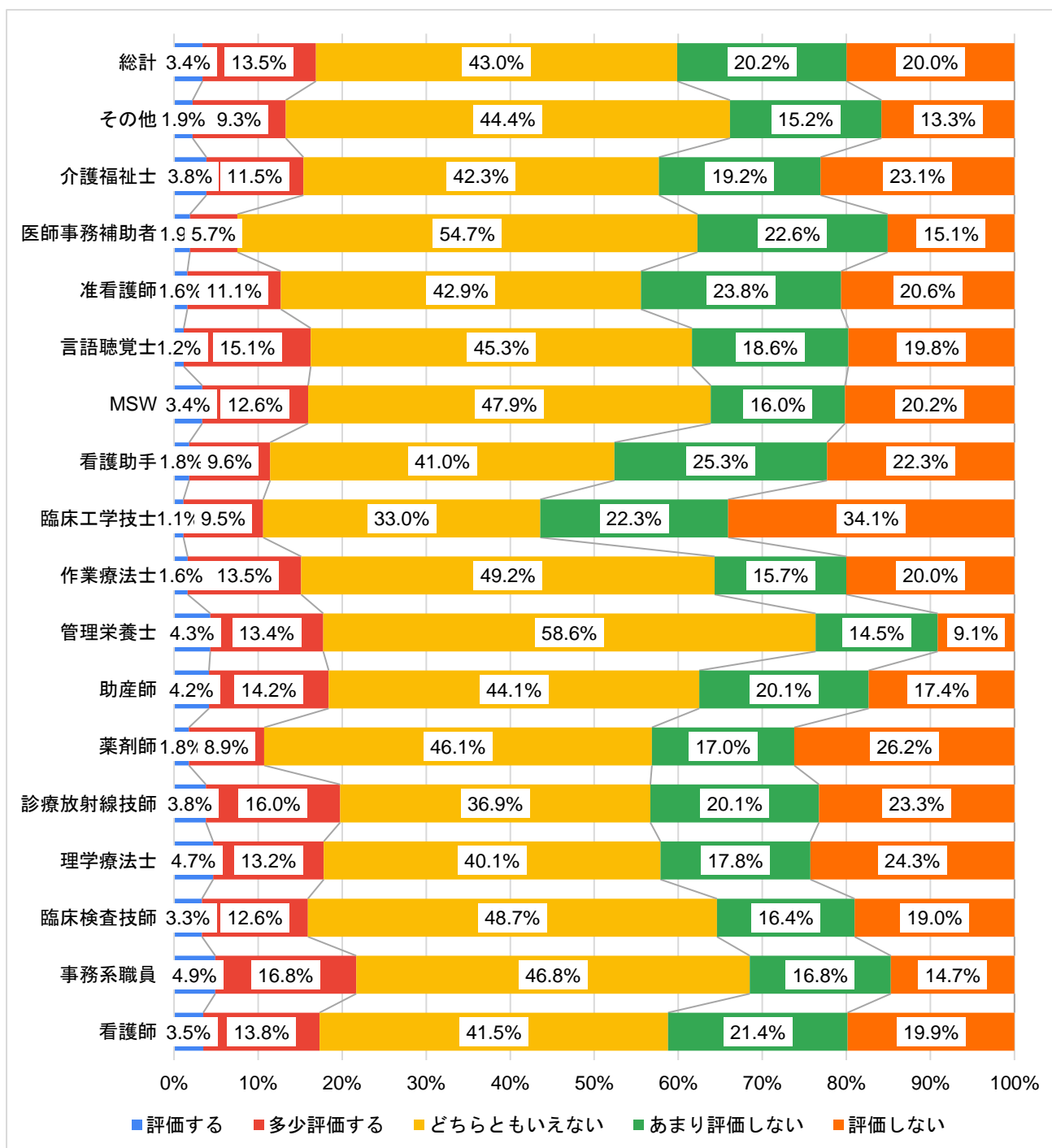


図 33 処遇改善の評価 (職種別 * 50 件以上回答のあった職種)

Q31. 政府の進める看護職員等処遇改善に関してご意見があれば教えてください。

1397 件の自由記載あり * 別記載

Q32. その他現場で困っていることがあれば教えてください。

1114 件の自由記載あり * 別記載